



第24弾

## ありたい姿 探検記



■お問い合わせ

総務企画課

☎ 4-2511

☆ 4-251102

森ジャム&EZOCUPとは？

前回のさらさらい  
トピック  
町民活動からみる  
まちづくり

- ・音楽を通じて「正解のない自由さ」に触れる
- ・柔軟な発想と挑戦する心で私たちの暮らしたいまちをつくりあげていく

先月号は、下川町の音楽イベント「下川とんちんかん楽団」をご紹介し、どのようなまちを目指していきたいかについて考えました。今月は、町民主体のイベント「森ジャム&EZOCUP」から下川町が大事にしたいことを掘り下げていきます。

森の恵みを活用し、楽しむ。人々がやりたいことを持ち寄って交流する。「森ジャム&EZOCUP」は、小さな町の森である美桑が丘・桜ヶ丘公園を舞台に、ワークショップ、雑貨、飲食などの出店や森林のアート展示、音楽ライブなどが盛り込まれている町民有志のお祭りです。森林と人が輝くまち、下川町。このフレーズを体現するような2日間を楽しめます。

### 森林文化を継承するお祭り

下川は、面積の約9割が森林です。林業が基幹産業であり、町内に製材工場が8つある、いわゆる森林を中心にしたまちづくりをしているまちです。日々管理してきた森林をいかに大切に、良い形で次世代に残すか。そのために幼小中高一貫の森林環境教育など



で森林と共生していく文化を継承してきています。

森林と共に生きていくという想いが根付いている下川町民だからこそ、森林の恵みを楽しむ「森ジャム&EZOCUP」が開催されるようになったのかもしれない。

まちのありたい姿の視点からは？

森ジャムとEZOCUPは、まちの将来像である、「2030年における下川町のありたい姿」の目標5「引き継がれた文化や資源を尊重し、新しい価値を生み出すまち」に大きく関係しています。また、SDGs目標11「住み続けられるまちづくりを」には、公的・民間の両方から文化を守ることを求める指標があります。古くから大切にしてきた森林を守りつつ、森林をお祭りに活用し、その恵みに新しい価値を生み出して楽しむことで、「温故知新」のまちづくりにつながるのではないのでしょうか。

今月はしもかわの森林文化について考えました。EZOCUPは7月6日〜9日、森ジャムは7月8日、9日です。町外からのファンも多い大人気なイベントと一緒に参加し、森林の恵みを楽しみますか？

充実版は公式noteへ

